

NATIONAL UNIVERSITY ADMISSION CENTERS

国立大学アドミッションセンター

連絡会議ニュース

第 21 号 2024 年 5 月



国立大学アドミッションセンター 連絡会議ニュース

第 21 回総会を開催

令和 5 年 5 月 17 日（水）17 時 30 分から、東北大学 100 周年記念会館・川内萩ホール及び Zoom によるオンラインにおいて、国立大学アドミッションセンター連絡会議 21 回総会が開催されました。

長濱会長（東北大学副理事（入試担当）・入試センター長）より開会の辞があり、議事においては、次第に基づき、幹事の交代に伴う役員の改選（案）の承認、続いて、新規加盟機関（熊本大学大学教育統括管理運営機構）の承認、これに伴う会則の改正、会計報告・予算案及び 20 周年記念事業「20 周年記念誌」制作について、いずれも承認されました。そのうち、将来構想ワーキンググループの設置の審議については、別途メール審議となりました。

以下は、総会議事要録です。ご覧いただきますようお願いいたします。

【参考】会計報告

令和 4 年度国立大学アドミッションセンター連絡会議運営費会計報告

令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

収入の部		支出の部	
前 年 度 繰 越	円	連絡会議ニュース第 19 号	円
会費（加盟 41 大学）	3,300,158	上記項目分振込手数料	127,050
利	820,000	ドメイン・サーバ（年間費）	550
息	31	上記項目分振込手数料	8,362
			330
		次 年 度 繰 越	3,983,897
計	4,120,189	計	4,120,189

【参考】運営費

令和 5 年度国立大学アドミッションセンター連絡会議運営費予算

令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

収入の部		支出の部	
前 年 度 繰 越 会 費（加盟 42 大学）	円 3,983,897 840,000	20 周年記念事業費※ 連絡会議ニュース第 20 号 ドメイン・サーバ（年間費） 通信運搬費	円 1,850,000 150,000 10,000 90,000
		次 年 度 繰 越（予定）	2,723,897
計	4,823,897	計	4,823,897

※ 20 周年記念事業費は、記念シンポジウム運営費（司会等旅費、配信委託費）、記念誌製作費、通信運搬費を含む

国立大学アドミッションセンター連絡会議

第 21 回総会議事要録

日 時 令和 5 年 5 月 17 日（水）17 時 30 分～18 時 10 分

場 所 東北大学百周年記念会館・川内萩ホール及び Zoom によるオンライン

開 会

長濱会長による開会挨拶により、東北大学百周年記念会館・川内萩ホール及び Zoom によるオンラインにおいて、第 21 回総会を開会した。

続いて、倉元事務局長から、令和 5 年度国立大学アドミッションセンター連絡会議名簿については、各加盟機関からの回答に基づき作成したが、訂正等があれば後日でも構わないので、事務局（東北大学入試課）まで連絡願いたい旨の説明があった。

議 事

1. 役員の改選（案）について

幹事会の原案どおり、岡山大学田中克己教授の退職に伴う幹事の交代について、香川大学竹内正興教授にお引き受けいただいた旨、報告があった。

2. 新規加盟機関の承認（案）について

新規加盟の申請があった「熊本大学大学教育統括管理運営機構入試・就職戦略室」の加盟が原案どおり承認された。

3. 会則の改正（案）について

1 機関の新規加盟に加え、3 既加盟機関の名称変更に伴う会則の改正が原案どおり承認された。

4. 令和 4 年度会計報告について

令和 4 年度の会計報告が原案どおり承認された。

5. 令和 5 年度会計予算（案）について

令和 5 年度の会計予算が原案どおり承認された。

6. 20 周年記念事業調査結果報告会について

20 周年記念事業実行委員会が昨年度実施した国立大学アドミッションセンターを対象にした調査の報告会を 7 月 10 日（月）13 時よりオンラインで行う旨のお知らせがあった。参加対象は国立大学アドミッションセンター連絡会議加盟機関校とする。

7. 20 周年記念誌の作成について

幹事の竹内教授より 20 周年記念誌の制作計画及びスケジュールについての説明があった。

8. 将来構想ワーキンググループについて

国立大学アドミッションセンター連絡会議の今後の在り方と展望について、ワーキンググループを設置し検討を行うこと、検討結果を次年度の総会に図ること、委員の構成は、現行の20周年記念実行委員会の有志で行うことについて審議した。

種々議論の後、総会での審議は見送りとし、後日、総会に出席した加盟校を対象にGoogle フォームにて審議の可否を票決した結果、過半数の賛成をもって可決された。

9. その他

加盟機関主催シンポジウム等における当連絡会議との共催や協賛を希望する場合の手続きについて、「加盟機関からのお知らせ」掲載依頼フォームに必要事項を記入の上、事務局まで連絡願いたい。

国立大学アドミッションセンター連絡会議 企画シンポジウム（報告）

第21回総会に先立ち、『国立大学におけるアドミッションセンターの現在と将来——よりよい大学入試の実現を目指して——』と題して、20周年記念企画シンポジウムが開催されました。20周年記念事業実行委員会では、全国立大学に対してアドミッションセンターの組織、業務、将来展望等に関する質問紙調査を実施して回答を得ました。その結果から、組織の多様性とともにも「入試制度設計」「調査・分析」「高大連携（入試広報）」といった共通ミッション、人材育成機能の不足が浮かんできました。シンポジウムでは、調査に関する基調講演を受けて、私立大学、高等学校関係者から見た「国立大学のアドミッションセンター」に関わる現状報告、「アドミッションセンターの将来像」に関するパネルディスカッションが行われ、活発な議論が展開されました。

日 時：2023年5月17日（水） 13:00～17:30（受付開始 12:00）

会 場：東北大学百周年記念会館・川内萩ホール（要事前申込）

オンライン配信（居住地限定なし・要事前申込）

司 会：香川大学教授

竹内 正興

次 第：

- | | | | |
|------|------|-----------------------|-------|
| I 開会 | 開会の辞 | 東北大学総長 | 大野 英男 |
| | 会長挨拶 | 東北大学副理事／ | |
| | | 国立大学アドミッションセンター連絡会議会長 | 長濱 裕幸 |
| | 来賓挨拶 | 文部科学省高等教育局大学教育・入試課 | |
| | | 大学入試室長 | 平野 博紀 |

II 基調講演 1

国立大学アドミッションセンター連絡会議 20年の歩みと今後の展望

東北大学教授／

国立大学アドミッションセンター連絡会議事務局長

倉元 直樹

III 現状報告 1

私立大学における入試研究の課題——国公私を横断する入試研究への期待——

大正大学教授

福島 真司

現状報告 2

高等学校から見た高大連携と大学入試

青森県立弘前中央高等学校長

齋藤 郁子

IV 討議

指定討論

山形大学理事・副学長

出口 毅

パネリスト

基調講演者及び現状報告者

司会

東北大学教授

宮本 友弘

佐賀大学教授

西郡 大

V 閉会

閉会の辞

東北大学理事

滝澤 博胤

なお、この企画は東北大学高度教養教育・学生支援機構が主催する「第 38 回東北大学高等教育フォーラム（新時代の大学教育を考える [20]）」との共催として実施されたものであることを付言いたします。

参加者総数は 477 名、内訳は来場参加者総数が 111 名、オンライン参加者総数が 366 名でした。そのうち、国立大学アドミッションセンター連絡会議の関係者は、来場参加者 13 名（催事スタッフを除く）、オンライン参加者 82 名でした。多数のご参加ありがとうございました。以上の数値には催事スタッフ 24 名が含まれます。また、オンライン参加者数は参加申込者数でカウントされています。

報告書は 2023（令和 5 年）11 月付で刊行され、参加者に配布されました。報告書の pdf 版は東北大学高度教養教育・学生支援機構ウェブサイト「IEHE Report No.87」として掲載されておりますので、以下の URL からダウンロードしてご覧ください。

http://www.ihe.tohoku.ac.jp/?page_id=700

また、本企画の一部が科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（A）（一般）課題番号 21H04409「コロナ禍の下での大学入試政策及び個別大学の入試設計のための総合的大学入試研究」の助成を受けたことから、報告書は当該科研費のウェブサイトからダウンロードすることもできます。

<http://www.adrec2.ihe.tohoku.ac.jp/report/>

国立大学アドミッションセンター連絡会議会則

制 定 平成 15 年 6 月 4 日

最終改正 令和 5 年 5 月 17 日

(名 称)

第 1 条 本会は国立大学アドミッションセンター連絡会議と称する。

(目 的)

第 2 条 本会は、高等学校・大学間の接続関係の改善及び加盟機関における入学者選抜等の業務改善に関する研究協議を行い、あわせて加盟機関相互の交流促進を図ることを目的とする。

(事 業)

第 3 条 本会は、前条の目的を達成するため、必要な事業を行う。

(構成員)

第 4 条 本会は、国立大学のアドミッションセンター、及び国立大学において高等学校・大学間の接続関係の改善に関する研究及び実践に携わる機関によって構成する。

2 本会の加盟機関は、別表に掲げる機関とする。

3 新たに入会しようとする国立大学の機関は、総会の承認を得るものとする。

4 退会しようとする国立大学の機関は、退会の旨を届け、総会の了解を得るものとする。

(役 員)

第 5 条 本会に以下の役員を置く。

一 会 長 1 名

二 事務局長 1 名

三 運営委員 各加盟機関からの代表 1 名

四 幹 事 運営委員の中から会長の委嘱 6 名

2 会長及び事務局長は総会において選出する。任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の会長及び事務局長の任期は、前任者の残任期間とする。

3 役員は加盟機関の代表をもって、これにあてる。

(役員職務)

第 6 条 会長は、総会を招集し、その議長となる。

2 会長が欠けたときは、事務局長がその職務を代行する。

3 事務局長は、本会の運営に必要な事務全般を行う。

4 運営委員は、本会の運営に携わる。

(総 会)

第 7 条 総会は、加盟機関の 3 分の 2 以上の出席がなければ開くことができない。

2 総会の議事は、出席した加盟機関の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(加盟機関以外の出席)

第 8 条 会長が必要と認めたときは、加盟機関以外の者を総会に出席させ、意見を聴くことができる。

(事務局)

第9条 本会に、本会の事務を処理するための事務局を置く。

2 事務局は、事務局長の所属する機関に置く。

(雑 則)

第10条 この会則に定めるもののほか、事業の実施に関し必要な事項は本会が別に定める。

附 則

この会則は、平成15年6月4日から施行する。

附 則

この会則は、平成17年6月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成18年5月31日から施行する。

附 則

この会則は、平成19年5月29日から施行する。

附 則

この会則は、平成20年5月25日から施行する。

附 則

この会則は、平成21年5月19日から施行する。

附 則

この会則は、平成22年6月7日から施行する。

附 則

この会則は、平成23年5月24日から施行する。

附 則

この会則は、平成25年6月5日から施行する。

附 則

この会則は、平成28年6月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成29年5月24日から施行する。

附 則

この会則は、平成30年5月24日から施行する。

附 則

この会則は、令和2年6月2日から施行する。

附 則

この会則は、令和3年5月17日から施行する。

附 則

この会則は、令和4年5月18日から施行する。

附 則

この会則は、令和5年5月17日から施行する。

別表（第4条第2項関係）

北海道大学アドミッションセンター
 小樽商科大学アドミッションセンター
 旭川医科大学入学センター
 北見工業大学アドミッションセンター
 東北大学入試センター
 山形大学エンロールメント・マネジメント部
 福島大学アドミッションセンター
 茨城大学アドミッションセンター
 筑波大学アドミッションセンター
 群馬大学アドミッションセンター
 東京大学高大接続研究開発センター
 東京学芸大学アドミッションオフィス
 東京農工大学グローバル教育院
 電気通信大学アドミッションセンター
 横浜国立大学高大接続・全学教育推進センター
 新潟大学教育基盤機構アドミッション部門
 富山大学教育・学生支援機構アドミッションセンター
 金沢大学高大連携コア・センター
 福井大学アドミッションセンター
 山梨大学アドミッションセンター
 信州大学アドミッションセンター
 静岡大学全学入試センター
 名古屋大学教育基盤連携本部アドミッション部門
 滋賀大学高大接続・入試センター
 京都工芸繊維大学アドミッションセンター
 大阪大学スチューデント・ライフサイクルサポートセンター
 鳥取大学教育支援・国際交流推進機構入学センター
 岡山大学教育推進機構入試・高大接続部門
 広島大学高大接続・入学センター
 山口大学教育・学生支援機構アドミッションセンター
 徳島大学高等教育研究センターアドミッション部門
 香川大学アドミッションセンター
 愛媛大学アドミッションセンター
 高知大学学び創造センターアドミッションユニット
 九州大学アドミッションセンター
 九州工業大学教育接続・連携PF推進本部高大接続センター
 佐賀大学アドミッションセンター
 長崎大学教育開発推進機構アドミッションセンター
 熊本大学大学教育統括管理運営機構入試・就職戦略室
 鹿児島大学中等・高等教育接続センター
 鹿屋体育大学アドミッションセンター
 琉球大学グローバル教育支援機構アドミッションセンター

国立大学アドミッションセンター連絡会議役員（令和5年度）

会 長：長濱 裕幸（東北大学副理事（入試担当）・入試センター長）

事務局長：倉元 直樹（東北大学入試センター副センター長）

運営委員：下表

幹 事：大学名の前に○を付した

幹事	大 学 名	氏 名	役 職 名
○	北海道大学	池 田 文 人	高等教育推進機構高等教育研究部教授
	小樽商科大学	佐 山 公 一	アドミッションセンター副センター長
	旭川医科大学	三 好 暢 博	入学センター長
	北見工業大学	榮 坂 俊 雄	アドミッションセンター長
○	東北大学	倉 元 直 樹	高度教養教育・学生支援機構高等教育開発部門入試開発室教授
	山形大学	片 桐 茂 則	エンロールメント・マネジメント部入試課長
	福島大学	新 藤 洋 一	アドミッションセンター副センター長
	茨城大学	柴 原 宏 一	アドミッションセンター長
○	筑波大学	大 谷 奨	アドミッションセンター長
	群馬大学	栗 原 淳 一	アドミッションセンター副センター長
	東京大学	佐 藤 健 二	高大接続研究開発センター長
	東京学芸大学	濱 田 豊 彦	アドミッションオフィス室長
	東京農工大学	藤 井 恒 人	グローバル教育院教授
	電気通信大学	山 路 浩 夫	アドミッションセンター特任教授
	横浜国立大学	青 山 浩 之	高大接続・全学教育推進センター高大接続部門長
	新潟大学	城 斗 志 夫	教育基盤機構アドミッション部門長
	富山大学	山 田 貴 光	アドミッションセンター特命准教授
	金沢大学	中 野 正 俊	高大接続コア・センター特任助教

	福井大学	大久保 貢	地域創生推進本部ミッション部専任教授
	山梨大学	日 永 龍 彦	アドミッションセンター長
	信州大学	小 暮 克 哉	アドミッションセンター准教授
	静岡大学	雨 森 聡	全学入試センター准教授
	名古屋大学	永 野 拓 矢	教育基盤連携本部アドミッション部門准教授
	滋賀大学	太 田 善 之	高大接続・入試センター長
	京都工芸繊維大学	山 本 以和子	アドミッションセンター教授
	大阪大学	山 下 仁 司	スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 副センター長
	鳥取大学	森 川 修	教育支援・国際交流推進機構入学センター教授
	岡山大学	志 村 知 美	教育推進機構入試・高大接続部門講師
○	広島大学	永 田 純 一	高大接続・入学センター長
	山口大学	和 泉 研 二	教育・学生支援機構アドミッションセンター長
	徳島大学	植 野 美 彦	高等教育研究センターアドミッション部門長
○	香川大学	竹 内 正 興	アドミッションセンター長
	愛媛大学	井 上 敏 憲	アドミッションセンター長
	高知大学	永 田 信 治	学び創造センターアドミッションユニット長
○	九州大学	佐 藤 喜 一	アドミッションセンター教授
	九州工業大学	安 永 卓 生	教育接続・連携P F 推進本部高大接続センター長
	佐賀大学	西 郡 大	アドミッションセンター長
	長崎大学	中 村 典 生	教育開発推進機構アドミッションセンター長
	熊本大学	平 英 雄	大学教育統括管理運営機構入試・就職戦略室長
	鹿児島大学	土 田 理	中等・高等教育接続センター長
	鹿屋体育大学	中 本 浩 揮	アドミッションセンター長
	琉球大学	田 中 寛 二	グローバル教育支援機構アドミッションセンター長

編集後記

コロナ禍の真っ只中、2020（令和2年）の書面審議による第18回総会で本連絡会議の事務局長を拝命して以来、4年間にわたってお役目を務めさせていただきましたが、長濱裕幸会長（東北大学アドミッションセンター長）とともに今期をもって退任させていただくことになりました。何かと至らぬことが多かったと思いますが、ここまでありがとうございました。大変お世話になりました。

この4年を振り返ってみますと、ウィズコロナ時代、ポストコロナ時代の本連絡会議のあり方を模索しながら苦闘した年月でした。幹事会の下にワーキンググループを立ち上げて設立19年目に初めてウェブサイト構築したのが最初の大きな仕事でした。その流れで、本連絡会議の4つのミッションステートメントを定め、ウェブサイトを通じて明示することが出来ました。また、「加盟機関からのお知らせ」サイトには、多くの加盟機関にご協力いただき、イベントの開催や公募情報等、加盟機関のお役に立つ情報が掲載されました。改めて御礼申し上げます。

総会時のイベントは、事務局のキャパシティの限界から本務先である東北大学高度教養教育・学生支援機構の行事、「東北大学高等教育フォーラム」との共催として3回にわたって実施させていただきました。連絡会議のイベントとして独立させられなかったのは残念ですが、対面参加とオンライン参加のハイブリッド方式による開催、さらには東北大学イベントとしても多数の参加者にお集まりいただけたことから、本連絡会議の存在を広く外部に知っていただく効果があったのではないかと思います。

創設20年目の記念すべき年に20周年記念行事を開催できたことは幸いでした。準備が間に合うか内心ひやひやいたしましたが、ほとんどの加盟機関が調査にご協力くださり、連絡会議のメンバーが互いの実情を知る機会となりました。また、記念シンポジウムの後の報告会にも多数ご参加いただきました。ありがとうございます。得られた資料を今後の運営にお役立ていただければ幸いです。20周年記念事業の完遂が事務局長としての最後の目標でしたが、事業実行委員会のメンバーのご尽力により、今次の総会にて将来構想ワーキンググループの報告、20周年記念誌の刊行がかないましたことを感謝いたします。

最後になりますが、裏方の事務局員として運営を支え続けてくれた東北大学入試センターのメンバーに感謝いたします。今後は将来構想ワーキンググループ座長を務められた筑波大学アドミッションセンターの大谷奨教授に事務局のバトンをお渡しすることを予定しております。新体制の下での国立大学アドミッションセンター連絡会議の益々のご発展を祈念して、終わりとさせていただきます。4年間、どうもありがとうございました。

令和6年4月 事務局 倉元 直樹（東北大学）

国立大学アドミッションセンター連絡会議ニュース 第21号

発行：国立大学アドミッションセンター連絡会議
編集：東北大学入試センター（連絡会議事務局）
〒980-8576 仙台市青葉区川内28
電話：022-795-4815 / F A X：022-795-4815

国立大学アドミッションセンター連絡会議ニュース 第 21 号

発 行：国立大学アドミッションセンター連絡会議

編 集：東北大学入試センター（連絡会議事務局）

〒980-8576 仙台市青葉区川内 28

電 話：022-795-4815 / F A X：022-795-4815